飯伊地区 産業経済動向

No.483 2019/6
（元．7．25 発行）

IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
地域サポート部
しんきん南信州地域研究所
http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町１－２
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高（飯田手形交換所扱）	枚数	2,580 枚	△ 28.7 %	△ 11.2 %
	金額	4,130,825 千円	△ 21.3 %	△ 10.2 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	（前月 1 枚）	（前年同月 0 枚）
	金額	0 千円	（前月 100 千円）	（前年同月 0 千円）
倒産件数（負債額１千万円以上）	県内	3 件	（前月 4 件）	（前年同月 9 件）
	飯伊	1 件	（前月 0 件）	（前年同月 0 件）
住宅着工戸数（飯田市、下伊那郡 総数）（５月）		60 戸	17.6 %	△ 3.2 %
有効求人倍率（パートを含む実数）（ハローワーク飯田管内）（５月）		1.31 倍	（前月 1.29 倍）	（前年同月 1.51 倍）
自動車新規登録台数（松本事務所管内）	新車	2,643 台	18.2 %	20.7 %
	中古車	769 台	10.3 %	4.3 %
軽自動車新規登録台数（軽自動車協会連合会長野事務所）（５月）	新車	3,940 台	4.0 %	14.7 %
	中古車	1,200 台	△ 30.4 %	3.9 %
中央道利用台数（飯田インター分）	入	107,226 台	△ 9.0 %	△ 3.2 %
	出	108,544 台	△ 8.2 %	△ 2.6 %
中央道利用台数（松川インター分）	入	74,445 台	△ 6.7 %	△ 3.0 %
	出	72,323 台	△ 3.7 %	△ 2.2 %
中央道利用台数（園原インター分）	入	14,742 台	△ 41.5 %	△ 8.7 %
	出	14,666 台	△ 46.5 %	△ 10.7 %
中央道利用台数（飯田山本インター分）	入	37,243 台	△ 21.9 %	△ 1.1 %
	出	35,953 台	△ 22.0 %	△ 4.2 %
信用保証協会 新規保証件数（飯田支店管内）		132 件	△ 8.3 %	△ 11.4 %
信用保証協会 代位弁済件数（飯田支店管内）		16 件	（前月 4 件）	（前年同月 40 件）
高速バス乗車人数	飯田～新宿	24,462 人	△ 11.8 %	2.4 %
	飯田～名古屋	17,123 人	△ 9.9 %	6.6 %
	飯田～長野	9,501 人	△ 4.3 %	△ 2.6 %
	伊那・駒ケ根～新宿	20,083 人	△ 11.3 %	— %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,507 人	3.2 %	4.5 %
	右回り	3,514 人	△ 4.3 %	△ 2.8 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（http://www. iidashinkin. co. jp）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。

CONTAINS SOYOIL
100%植物油型インキ
［ナチュラリス100］を使用しました。

再生紙を使用しています

概　　況

製 造 業

6月の製造業の業況判断指数（ＤＩ）は、マイナス40.0で、前月から6.7ポイント上昇。翌月予測もマイナス30.8で、前月から19.2ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の販売の前年比は、業者により増減分かれる。一部に受注がやや減少した業者も見られ、こうした業者では景況感も悪化している。半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、概ね横ばい。前年比は減少との声が多い。産業機器や医療機器向け部品の受注の前月比は、一部にやや増加したとの声もあるが、減少～横ばいとの声が多い。建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。自動車向け部品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。小型電磁機器の販売は、前月比やや減少。一部に景況感が悪化した業者も。こうした業者では先行きも弱含みという。ＦＡ関連モーターの受注は、前月比やや減少。「産業機械向けが減少で推移」など、前年比はやや減少しており、景況感も悪化している。電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、「一般市場向けの需要が急激に減少」など景況感も悪化との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、横ばい～増加。一部に前年比はやや減少との声も。景況感は分かれる。水引製品の販売は、前月比横ばい～増加。前年比は、やや増加との声も複数。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「野菜相場が安定しているせいか、浅漬け類の動きは鈍い」などの声が寄せられた。

建 設 業

6月の建設業の景況ＤＩはプラス8.3で、前月から16.0ポイント上昇。翌月予測ＤＩはマイナス8.3で、前月から0.6ポイント下降。

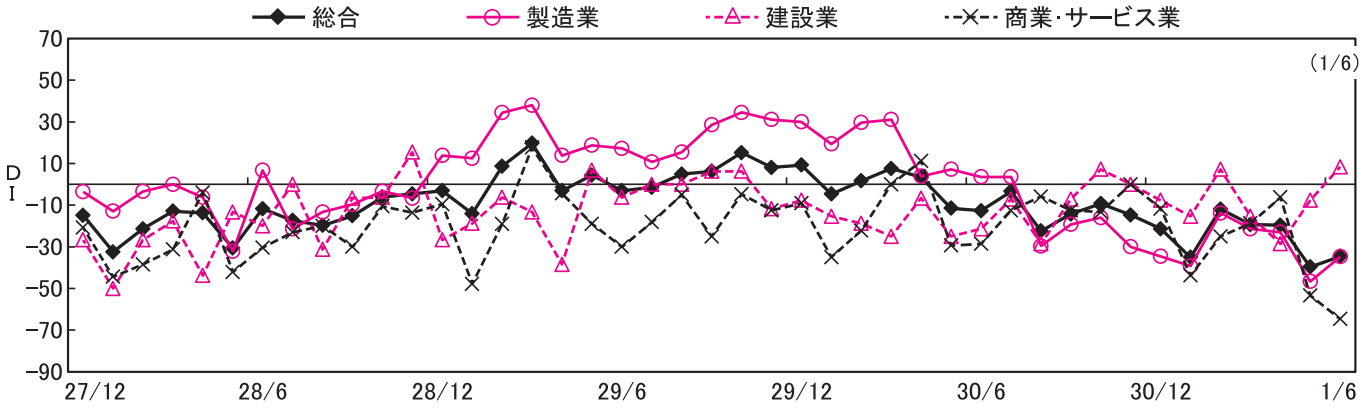
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約29.1億円、前月比138％増加、前年比も156％増加している（7月15日調査時点）。「県も防災、減災土木工事が発注。市町村では学校施設の空調設備工事が複数発注されて工事件数増加」など発注が多かった当月、調査先企業の受注残高も前月に比べ増加との声が多い。

当地区の５月の住宅着工戸数は60戸。前月比18％増加も、前年比は３％減少。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「大きな動きはなく十分とは言えないまでも、いい雰囲気も漂っている」などの声も。

商業・サービス業

6月の商業・サービス業の景況ＤＩは、マイナス64.7と、前月より11.4ポイント下降。翌月予測ＤＩは、マイナス38.9で、前月より11.1ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、減少～やや減少。一部に景況感が悪化した業者も。青果卸売市場の販売は、販売は前月比、前年比ともやや減少、先行きも弱含みという。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感が好転するには至らないとの声。電化製品の売上は、前月比、前年比とも増加との声が寄せられた。ＯＡ機器の売上は前月比概ね横ばい、景況感は悪化との声。衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。土産物の売上は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比18％増加、前年比も21％増加。５月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比４％増加、前年比も15％増加。自動車販売、整備の売上は、前月比概ね横ばい、前年比は増加の様子。市内料理店の売上は、前年比やや増加。景況感には温度差があり、「夏場で時期的に売上が少ないが、悪くはない」「何とか前年を超えたが、景気は良くないし、良くなる要素もない感」などの声が寄せられた。昼神温泉の売上の前年比は、「前半入込が少なかった」など、やや減少。人手不足に関わる声が多く寄せられた。タクシーの売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少との声。

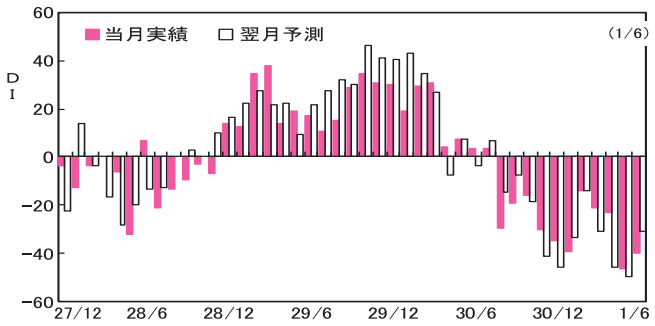
飯伊地区景況ＤＩ（本誌調査）



製　造　業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況ＤＩ（製造業）



当月実績ＤＩ	－40.0	（前月　－46.7）
翌月予測ＤＩ	－30.8	（前月　－50.0）

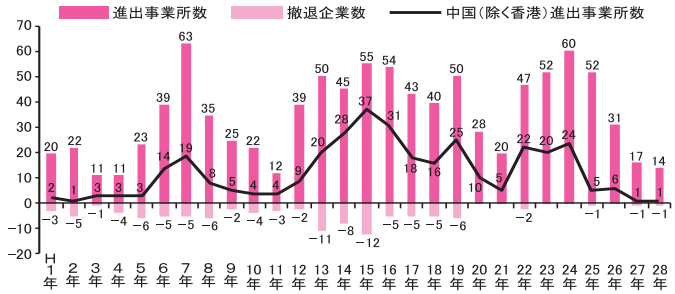
当月の製造業の業況判断指数（ＤＩ）は、マイナス40.0で、前月から6.7ポイント上昇。**翌月予測もマイナス30.8**で、前月から19.2ポイント上昇している。

中小企業の海外進出、しんきん海外経済セミナー

2016年版中小企業白書では、我が国の少子高齢化に伴う国内需要の縮小していく可能性がある一方で、海外市場は拡大しており、また訪日外国人旅行客数も増加傾向にあることから、このような状況を踏まえれば、中小企業の売上拡大のためには、海外需要を獲得することも重要としている。

海外需要を獲得する方法には、輸出、直接投資、インバウンドへの対応（以下合わせて「海外展開投資」という）などが挙げられるが、直接投資に関して長野県の「長野県関係製造業企業の海外進出状況調査」によると、平成28年中に新たに海外進出した長野県関係製造業企業は14事業所で、昨年に比べ3事業所、17.6%減少していた。また、この14事業所の進出先を見ると、ASEAN 加盟国が最も多く、6事業所が進出していた。

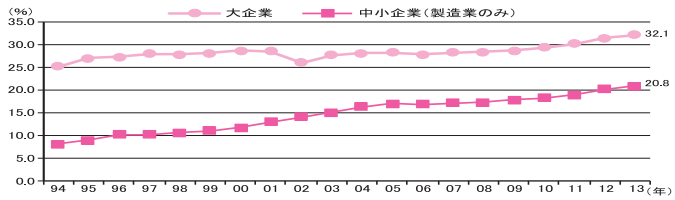
図１　年次別海外進出及び撤退状況



※ここでいう「事業所」は、海外で生産活動を行っている事業所、販売活動を行っている事業所、現地情報の収集等を行っている駐在員事務所の合計
（資料：長野県関係製造業企業の海外進出状況調査）

ところで、海外子会社を保有するという意味で直接投資を行っている企業の割合の推移を規模別に見ると、

図２　規模別に見た海外子会社を保有する企業割合の推移

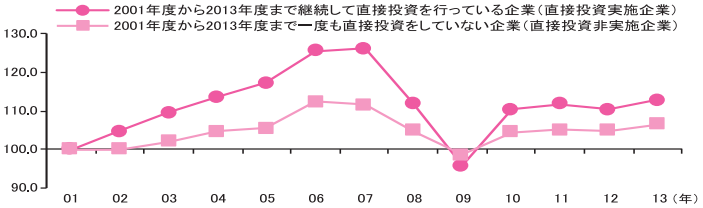


※１「海外子会社を保有する企業」とは、年度末に海外に子会社または関連会社を所有する企業をいう。また、「子会社」とは、当該会社が20%以上50%以下の議決権を直接保有している会社をいう。
（資料：2016年版 中小企業白書）

大企業と同様に中小製造業の直接投資割合も増加していることが分かる。2013年度末時点で直接投資を行っている中小製造業は、同年の中小製造業全体の約２割だった。

また、同白書によると、2001年度から2013年度までの直接投資の状況について継続的に回答している中小企業のうち、2001年度から2013年度まで継続して海外子会社から輸出を行っている企業（直接投資実施企業）と、同じ期間一度も直接投資をしていない企業（直接投資非実施企業）のそれぞれの労働生産性の推移を、2001年を100として指数で見ると、直接投資実施企業は、2001年の直接投資により労働生産性が上昇し、リーマン・ショックの影響があった2009年を除き、直接投資非実施企業よりも高水準で推移している。

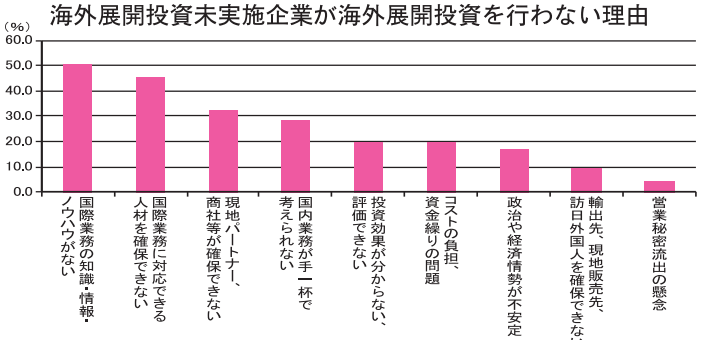
図３　直接投資実施企業と直接投資日実施企業の労働生産性



注１．中小企業の集計
２．労働生産性＝国内の付加価値額／国内の従業員数
３．2001年度から2013年度まで連続して回答している企業の集計
（資料：2016年版 中小企業白書）

とはいえ同白書によると、海外展開投資を重視しているとする中小企業は約２割に過ぎないという。そして、海外展開投資を重要視しているものの、現在海外展開投資を行っていない企業に海外展開を行わない理由を尋ねると、「国際業務の知識・情報・ノウハウがない」と回答した企業が最も多い。

海外展開投資未実施企業が海外展開投資を行わない理由



注１　複数回答。海外展開投資を重要と回答し、かつ海外展開投資を行っていない企業を集計　（資料：2016年版 中小企業白書）

飯田信用金庫では来る８月29日（木）15：00～シルクホテルにて日本銀行松本支店 支店長 和田 健治氏、信金中央金庫海外業務支援部 支援グループ次長 原田 幸三氏をお招きし、最近注目されている米中貿易摩擦の影響や海外進出日系企業の動向などについてご講演いただきます。お席に限りがありますので、ご聴講ご希望の方は、お取引支店または飯田信用金庫地域サポート部まで、お早めにお申し込みください。

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売の前年比は、業者により増減分かれる。一部に受注がやや減少した業者も見られ、こうした業者では景況感も悪化している。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかった様子。雇用面、設備面で積極的な声は聞かれなかった。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、概ね横ばい。前年比は減少との声が多い。依然「米中貿易摩擦の影響で設備投資の後ろ倒し」「FPD関連は減少」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も。先行きは、現状で推移するとの見方が多いが、「先は読めない」など不透明感もあるという。こうした中、「中国メーカーの、中国国外向けの投資で需要があった」との声も。原材料、資材価格に当月大きな動きはなかった様子。雇用面では「複数名採用。経験者の募集を続けている」「当面充足しているが、先行きは不足」などの声。設備面では積極的な声が少なくない。

産業機器や医療機器向け部品の受注の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～横ばいとの声が多い。「国内はあまり変化ないが、海外の受注が増加してきた」「一部の製品で、単発的だが売上増加」「現時点では安定している」といった声や、「半導体向けが特に悪いようだ」「まとまった物件が減少」「小口が思ったほど伸びなかった」「全般に仕事減少との声が多く、客先からも明るい話が聞こえてこない」「見積案件が減少。一部の製品は安定しているが、低調なものが多い」「受注が減少している」「国内は低迷」「低迷。米中貿易摩擦の影響大と見る」などの声。先行きは、「一部の製品ではフォアーキャスト上の数値も出てこない」「目新しい情報がない」など不透明感があるないし弱含みとの声が多いが、上向きと見る声も複数。

現状、運賃などは「2割方上昇」している様子も、その他の原材料等に大きな動きはなかった様子。しかし、「これから上昇との話も少しずつ漏れ聞こえてくる」との報も。設備面、雇用面では、概ね現状維持も、積極的な声も複数聞かれた。「技術力向上のための取組みを検討中」「現況は悪いが、プラス思考で挑戦中」などの声が寄せられた。

建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。「引き続き東京オリンピックの関連で多忙」など景況感も好転との声が寄せられた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

自動車向け部品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。先行きにも大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の販売は、前月比やや減少。一部に景況感が悪化した業者も見られた。こうした業者では先行きも弱含みという。原材料、資材価格がやや上昇との声。雇用面では現状維持の様子。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

FA関連モーターの受注は、前月比やや減少。「産業機械向けが減少で推移」など、前年比はやや減少しており、景況感も悪化している。米中貿易摩擦の影響を指摘する声が聞かれた。

電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、「一般市場向けの需要が急激に減少」など景況感も悪化との声が寄せられた。先行きも弱含みという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、横ばい～増加。一部に前年比はやや減少との声も。景況感は分かれ、「6月下旬から空前の忙しさに戸惑っている」といった声や、「特定の販路向けが減少している。消費動向は依然として変わらない」との声が聞かれた。先行きは「7月一杯の繁忙期を何とか乗り切りたい」など上含みとの見方が多い。こうした中、雇用面でも、「不足。何とか増員したい」との声の一方、「現状で良い」との声も。「段ボール等値上げ」など原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声が聞かれた。

水引製品の販売は、前月比横ばい～増加。前年比は、やや増加との声も複数。「お盆用品の出荷で多忙を極めている」「製造、入荷は順調で売上は増加」「前月、今月と販売は昨年並み。正月飾りの注文など先行きの見通しも悪くない。微に入り細を穿つつもりで販売に力を注ぐ」などの声が寄せられた。原材料、資材に関し、「為替が円高傾向になっていることは当社には好材料」「人件費、輸送費の高騰で利益は減っている」「配送業者の確保が難しい」などの声。「冠婚葬祭の変化など人間関係が希薄化している上に、年金問題などもあって全体にお金を使わなくなっている。何もしないでも販売できるような時代ではないとつくづく感じる。業界全体で風習や水引の使い方を広める努力が必要だと思う」との声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「野菜相場が安定しているせいか、浅漬け類の動きは鈍い」「品目により売上状況に差が出てきているように感じる」などの声が寄せられた。

その他製造業

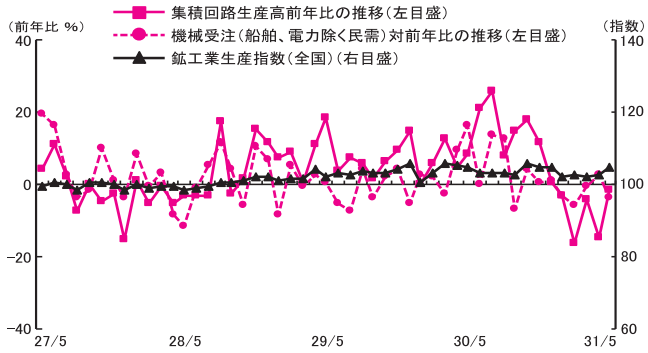
食品関連包材の生産は、前月比やや減少との声。先行きも弱含んでいるという。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。

印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。「紙の値上りに続きインキの値上りなど資材の値上がりしている。お客様の理解を得ながら値上げしてきたが、対応にも限界がある」など資材価格高騰の影響を指摘する声。また、「従来営業配送してくれていた資材納入業者が、人員不足と経費節減からトラック便に切り替えて1年間続けてきた。ところがここにきてトラック便の値上げで再度営業配送に戻したいとの申し入れがあった」など、様々な場面で諸価格上昇の影響が見られるという。先行きは上含みとの声も。

住宅機器、オフィス家具、店舗用什器等家具の生産は、前月比やや増加も、前年比はやや減少、「非常に悪い状態が続いている」など景況感も悪化との声が寄せられた。先行きも弱含みという。

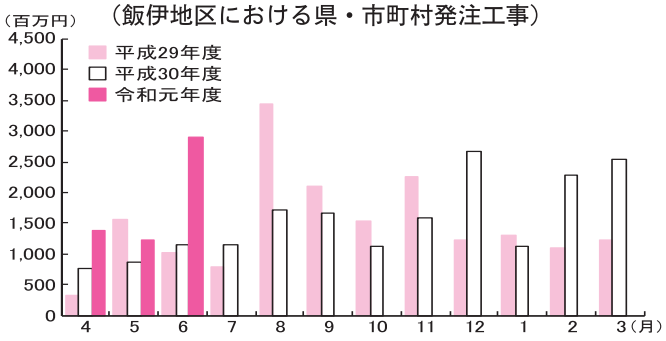
【企業からのコメント】
★製造業に入社する新人も少なく、また辞めるのも早い。そのため製造現場が維持できないような状態も起こっている。今後働き方改革もあり、人件費を含め人の問題が大きくなってきた。
★インフラ装置の関係で大手とのコラボの案件がある。
★外国人複数名採用。
★現状、会社経営はジーッと我慢の時間か。

集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



建　設　業

月別入札額
（飯伊地区における県・市町村発注工事）



（資料：新建新聞入札結果欄より抜粋）

当月景況ＤＩ	8.3	（前月	−7.7）
翌月予測ＤＩ	−8.3	（前月	−7.7）

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約29.1億円、前月比138%増加、前年比も156%増加している（７月15日調査時点）。

「国では、三遠南信自動車道関連工事、防災、減災土木工事が発注になり工事量は前年並と思われる。県も防災、減災土木工事が発注されてきた。市町村では学校施設の空調設備工事が複数発注され工事件数増加」など発注が多かった当月、調査先企業の受注残高も前月に比べ増加との声が多い。「自社の規模に見合う受注はある」などの声。前年比は、「５%増加の受注額」といった声も聞かれる一方、「新規受注が伸び悩み、残高の伸びが少ない。業界全体が潤う工事を期待し過ぎたのか、受注競争も厳しい中、なかなか取り込めない」「大きな工事はあまり出ていない。各社に十分な仕事は行き渡っていないと思われる」などの声が聞かれ、やや減少した業者も見られる。

「４～６月の工事は確保できない」など目下の繁忙感はさほどではない様子も、「お盆過ぎから忙しくなりそう」といった声は多い。こうした中、「人手不足、技術者不足で、今後は受注しても施工できるか心配」との声も。雇用面ではその他に「次月入社」「技術者、営業募集」「総体では定年などで減少するが、今月若手が入社」「施工社員募集」「複数名増員も募集は続ける」など積極的な声が少なくない。

先行きも受注残高の増加を見込む声が多いが、一部に「秋ごろまでの受注はあるが、それ以降が不透明」との声も。

資材等に関し、「材料、燃料、二次製品など徐々に値上り」「燃料の上昇傾向が続いている」などの声が聞かれた。

民需

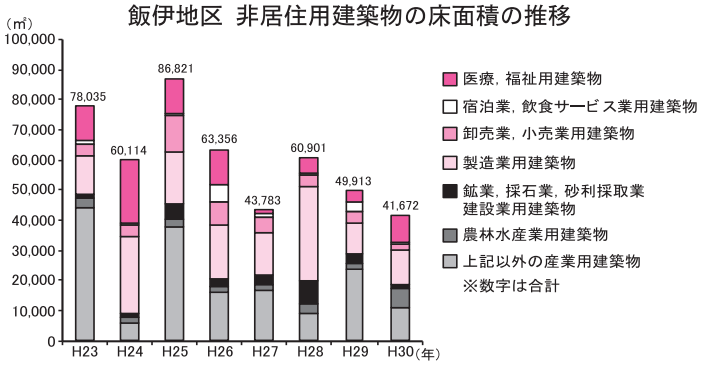
当地区の**５月の住宅着工戸数**は60戸。前月比18%増加も、前年比は３%減少している。

当月の調査先企業の**受注残高**の前月比は、横ばい～やや増加。「リフォームなど改修工事中心だが、やや増加」「大きな動きはなく十分とは言えないまでも、いい雰囲気も漂っている」「住宅やリフォームはまずまず。しかし、公共や民間の大きな工事が少なく、小さな仕事をこなす比重が高い」などの声が聞かれた。雇用面では、「現状で適当」との声のほか、「営業を特に必要としている」「現状不足」などの声もある。

飯伊地区の非居住用建築物工事床面積の推移

国土交通省の建築物着工統計では、建築主から提出される建築届を基に、建築物の数、床面積の合計、工事費予定額などを集計している。これによって飯伊地区の作業場（工場）、倉庫、店舗といった非居住用建築物の建築床面積の推移をみると、平成30年の製造業用建築物の建築床面積合計は11,060㎡で、前年に比べ６%増加していた。非居住用建築物全体では41,672㎡で、前年に比べ17%減少している。

飯伊地区　非居住用建築物の床面積の推移



（資料：国土交通省「建築物着工統計調査」）

建設資材

建設資材、塗料等の売上は、「天候不順で現場の進行が遅く、不調」など前月比、前年比ともやや減少、景況感も悪化との声。先行きは上含みという。仕入価格は上昇基調という。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともに減少、「５月に比べ荷動きは一段と悪化。状況としては最悪に近い」など景況感も悪化している。「製造業の需要が低下していて回復の目途は不透明。売り先に好調な業種がない」「問屋筋も名古屋を中心とする中部圏は全体に荷動きが悪く苦慮している様子」といった声が寄せられた。先行きは「８月くらいまでこの水準が続くものと予想。その先も好材料があるわけではなく不透明」という。鋼材価格は、「横ばい。二次製品はものによって値上がり」という。

生コンの売上は、前月比やや増加。一部に景況感が好転した業者も。「主な出荷は、三遠南信自動車道工事、砂防工事、保育園建設工事、発電所工事に関わるもの」という。「６月後半は降雨や川の増水で河川工事が進まなかった。発注はされていて、忙しくなるのは８月以降」「地元業者は仕事はある。ただ、忙しいという感じがない」などの声が寄せられた。「JR 発注のリニア関連工事の出荷量は前月より若干増加するも、当月出荷量全体の５%弱」という。

骨材の売上は、前月比やや増加。しかし、「一部に好調なところもあるが、全体的には生コン業界が不調」など景況感の好転には至らない様子。一部に雇用面で積極的な声が聞かれた。

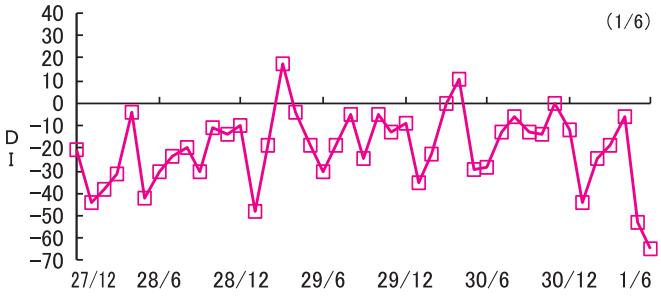
【企業からのコメント】
★今年度は、昨年度より悪いかもしれない。
★補助金を利用して設備投資を予定している。
★リニア関連工事の移転費など提示されるようになってきたが、まずまずの金額ではないか。徐々に動き出していくと思われる。

住宅建築確認申請受付状況（※本誌調査による概数）

６　月　○飯田建設事務所分
　　新築　11 件　（前年　7　件）
　　増築　4　件　（前年　4　件）
　　○飯田市役所分
　　新築　35 件　（前年 19 件）
　　増築　1　件　（前年　1　件）
　　※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業ＤＩ



当月景況ＤＩ	−64.7	（先月	−53.3）
翌月予測ＤＩ	−38.9	（先月	−50.0）

商　業

食料品の売上の前月比は、減少～やや減少。一部に景況感が悪化した業者も見られた。前年比は業者により増減分かれる。「飲料、麺類の値上げ」など、仕入価格が依然上昇傾向との声は少なくない。当月、「特にレタスなど、夏野菜下落」「水産物は相変わらず不漁」「肉類でやや伸びないものがある」など、天候等の影響を指摘する声。「盆月に向けて仕入を増やしている」など、時節柄在庫が増加している様子。

［青果卸売市場］

販売は前月比、前年比ともやや減少、先行きも弱含みという。

野菜は、「全体的に売上が伸びない。雨の日が多く、入荷量は前年比７％減少したにもかかわらず、価格は前年並み。特にレタス、白菜、水菜等葉物野菜の価格安が続いている」という。

果実は、「順調な出荷だった昨年に比べ、今年は４～５月の遅霜の影響で、梅、桃、すもも、桜桃等の出荷が大幅に減少。その分柑橘類の販売が増えたとはいえ、全体では入荷量13％減、価格は９％高に止まった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感が好転するには至らないとの声。先行きは上向きという。時節柄、商品在庫を増やしている様子が窺える。

電化製品の売上は、前月比、前年比とも増加との声。「前月同様、市町村の小、中学校エアコン設備事業が続いていて、販売、設置工事ともに伸びた。今後は県の物件が多くなるのでは。工場関係を中心に、徐々に回復が見える」という。

家事用品の売上は、前月比、前年比ともにやや減少との声。「前回の消費増税の際経験した売上減に加え、今年の天候不順で夏物の売上が良くない。先行きを注視」「家庭紙などでは、値上げ等に加え、値上げがありながら間に合いにくい品物がある」などの声が寄せられた。

ＯＡ機器の売上は前月比概ね横ばい、景況感は悪化との声。「メーカーが７月から大幅値上げ実施」「配送費も値上がり。特にオフィス家具の配送費は大幅に上がりそう」など、仕入価格、経費が上昇基調という。一方「通販各社が値上げしないこともあり、販売価格に転嫁できない」という。

衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。「前月の反動もあり前月比は減少したが、当月もそこそこの売上で数字は良かった」「天候不順もあり客足は鈍い。同業、仕入れ業者とも活況感に乏しい」などの声が寄せられた。「当社の場合、９、10月から仕入単価が上がる予定。消費増税も重なり、明るい材料がない感」との声が聞かれた。

土産物の売上は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。当月も仕入価格が上昇基調にあるという。設備面で積極的な声がある。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比18％増加、前年比も21％増加。中古車も、前月比10％増加、前年比も４％増加している。

５月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は、前月比４％増加、前年比も15％増加。中古車は、前月比30％減少も、前年比は４％増加。

自動車販売、整備の売上は、前月比概ね横ばい、前年比は増加の様子。「販売数減」もあって景況感が悪化との声も。「最近の報道の影響で、高齢者が、安全機構の付いた新車を求める傾向がある一方で、運転を恐れて車を手放す動きも明確になってきた」「在庫車が売れたが、入庫が思うようにいかなかった」などの声。中古車に関し、「高年式車の仕入比率が上がったこともあり、仕入単価上昇」との声が聞かれた。

サービス業

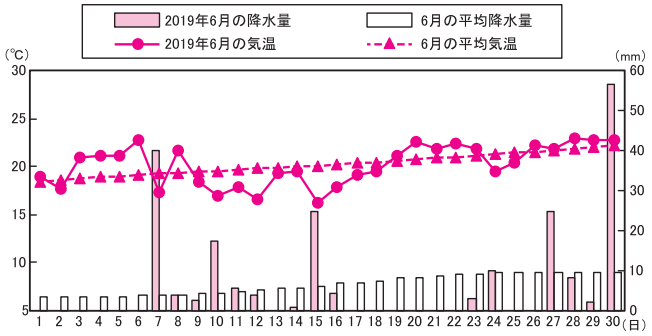
市内料理店の売上は、前年比やや増加。景況感には温度差があり、「夏場で時期的に売上が少ないが、悪くはない。半期で前年比を下回った月と上回った月が半ばし、さほど心配はしていないが、前年比を下回る月の落ち込みは大きいことが気にかかる。７月の予約状況は例年並みを見込むが、周囲の状況が良くない中、予断を許さない」「何とか前年を超えたが、夜の引けが早いなど、消費者の財布の紐は固い。景気は良くないし、良くなる要素もない感」などの声が寄せられた。仕入に関し「色々が値上がり。鮮魚などでは市場も今一つとの声」との声。人員に関し、「特に週末や祭日の人手不足が深刻化。派遣に頼るところだが、どこも事情は同じで、解決にならない」「パート、アルバイトにも有給を取ってもらうようにしたが、人件費増加。飲食業はどこも同じだろうか」などの声が寄せられた。

昼神温泉の売上の前年比は、「前半入込が少なかった」など、やや減少。「ナイトツアーのなかった当月、有志で星空さんぽ企画を毎日実施」「星空に加えて、それ以外の集客策も急務」などの声が寄せられた。「７/６からナイツツアーが始まる。週末や夏休み期間の予約状況は悪くない。平日も入り出しているが、人手不足による機会損失も小さくない。また、そうした状況にお客様も敏感。昼神全体にそうした傾向があるのでは」などの声が寄せられる中、「接客対応の評価を上げるために社内教育を検討中」との声や、「外国人材の活用」が人手不足対策となり始めている様子だが、「言葉の問題等、日本人スタッフとの意思疎通に工夫が必要な面も」など、人員に関わる声は多い。

タクシーの売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少との声。「依然夜間需要が伸び悩んでいるが、それに加え、他産業の景気動向も影響している感」という。「他産業もそうだろうが、労働力の確保は、今後さらに深刻になるのでは。消費動向の底上げ感もない中、経費増への対応は難しい」「消費増税への対応など投資検討項目も多い。公共交通事業者として継続してサービスを提供すべく、業界全体としての取り組みも重要なように思う」などの声が寄せられた。「LPGは、若干ながら落ち着いてきた」という。

【企業からのコメント】
★キャッシュレスの手続が大変。手数料のこともあり、負担は大きい。
★人員を募集中だが、応募がない。
★老後2,000万円問題やら、米中、日韓関係、災害、消費増税など景気が悪くなる話ばかり。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目（30） 宝の山 ここ掘れワンワン

飯田信用金庫　地域サポート部
専門アドバイザー　小泉　敏郎

工場改善、改革の先生がある工場に訪問した、そこの社長と面談して概略の説明を受けた後に工場を見学することになった。工場に足を踏み入れた途端ニッコリと笑みを浮かべ、素晴らしい宝の山がここにありますね、さあ皆でお宝探しを始めましょう、と大声で叫んだ。

整理整頓できていて、仕掛かり在庫も少なく明るく活気のある工場に、お宝はあまりないらしい。それでも注意深く良く観察すると色々お宝が出てくるものである。この工場は一目見ただけで足元に宝が落ちている、もっと注意深く探してみれば膨大な財宝が埋っているに違いない、まるで金脈を発見したようだ。

それでは一つずつお宝を発掘し、その価値を調べ上げていきます。まず目に見えるところから始めましょう。

お宝①

先生）工場内が何となく薄暗いですね、物も雑然と置かれているし、３Ｓについて認識が甘いのではないですか。

社長）掃除や、整理整頓したいのですが、中々時間が取れなくてね。

先生）３Ｓの重要性を社長自信が理解していませんね、従業員にも噛み砕いて説明し是非実施してください、必ず利益に貢献しますよ。

お宝②

先生）Ａ機械とＢ機械の間にある膨大な物は何ですか？

社長）稼働率を上げるためにＡ機械をフルに動かしていて、次の工程Ｂ機械に投入待ちの仕掛品です。

先生）機械間の加工スピードのバランスが取れていないのが原因ですね。
仕掛品ができないように各工程のリードタイムをあわせることが肝要です。

お宝③

先生）機械の脇の箱に入っているのは製品ですか、結構ありますね？

社長）欠陥品や不良品です。棄てる物です。

先生）沢山ありますね、こんなに不良が多いのですか、生産量に対する割合は把握できていますか？
原因究明はできていますか？

社長）溜まったら棄てています、忙しく不良品の数も把握できていません、原因究明はとても時間が取れなくてやっていません。

先生）それではロットで生産する場合、不良が原因で生産数量が不足しませんか？

社長）長年の経験から二割増しで生産していますので、何とか対応できています。

先生）二割も多く材料を投入しているのですか、驚きですね。それでは作り過ぎて余ることもありますね、余計な在庫が増加するばかりではないですか。

お宝④

先生）不良品の発生数、損失金額を正確に把握できていないようですね、原因究明と今後の対策は進んでいますか？
客先への不良品対策、選別のための出張回数や出張費の内訳、金額は集計されていますか？

社長）忙しく究明する時間が取れないのが現実です。
不良対策も、全部はとてもできていません。
不良による損出金額も正確に計算できていません。

先生）二割近くも工程内で不良があり、客先への選別費用などを合計すれば結構大きな金額になりそうですね。

お宝⑤

先生）壁の横にうず高く積んである段ボール箱には何が入っているのですか？

社長）注文ロットがいろいろなのでまとめ生産した残りです。でもいつか出荷できますよ。
ここに全部置けないので倉庫を借りてもっと置いてあります。

先生）腐らないから良い様なものですが、倉庫代や金利を沢山つけて払っているのですね。

お宝⑥

先生）材料倉庫が大きいですね、ものすごい量がありますね。材料の購入方法は？
発注担当者とか発注数量とかの基準はありますか？

社長）一応担当者は決まっていますが、適正在庫が数値化されていないので担当者の裁量に任せてあります。

先生）それでこんなに同じ材料を購入して放置されているのですね。

お宝⑦

先生）配置や作業動線を考えて機械が設置されているようには見えませんが？
それに機械の周りが油だらけで、床が滑りそうで危ないですね。

社長）増設、増設で機械を設置したので、古い機械が多く仕方が無いのです。機械を並べかえるのにもお金が掛かって動かせないのです。

先生）機械のメンテと清掃はまめにしないと製品の精度、品質不良の原因になりますよ。
作業の動線を考慮して並べ替えれば生産効率も大きく上がりますよ。

掘ればまだまだお宝は出そうですが、今回はここまでにしましょう。今回挙げた７件が解決できたらどのくらいの金額になりますかね、是非試算してみてください。毎月これほどのお金をみすみす無駄にしていることにビックリしますよ。

発見時の興奮、対策ができたときの喜び、効果が金額で見えたときの驚きは大きいですよ。

工場内の材料、仕掛品、製品はすべて出て行くお金です、製品を出荷して始めて入ってくるお金に換わります、工場経営ではこれを良く頭に入れることが重要です。

整理清掃整頓ができた明るく活気のある工場は訪問者への見た目も良いし、作業効率も上がります、皆で綺麗にすると必ずや利益を生むことができるでしょう。

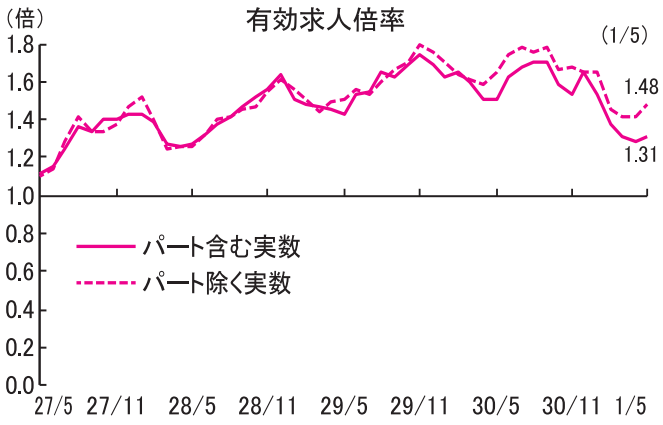
さて貴方の工場に埋蔵金はどのくらいありますか？

飯田信用金庫では、２名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

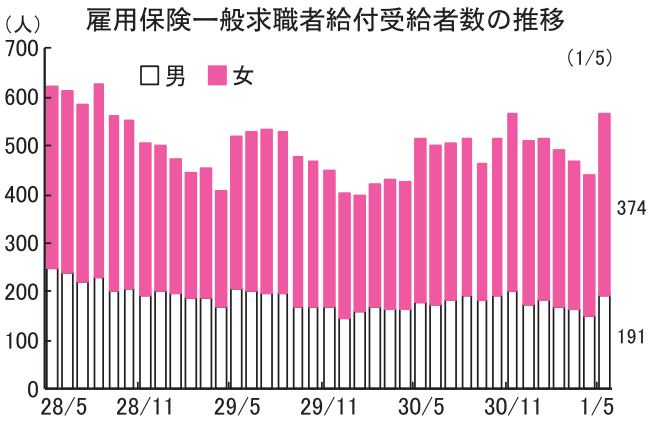
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町１－２ 飯田信用金庫４階 TEL 0265－53－5811 FAX 0265－53－1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



令和１年５月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.31倍と、前月から0.02ポイント上昇。パートを除く実数は1.48倍で、前月から0.07ポイント上昇している。



令和１年５月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は41人増加、女性も82人増加。全体では565人と、前月から123人増加している。

（資料：ハローワーク飯田）

しんきんリニア対策課です

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（６）

赤石山脈（南アルプス）（３）南信州大鹿村

～足許でリニア工事、厳しい道路事情～

１．近代登山の黎明　舞台となった大鹿村

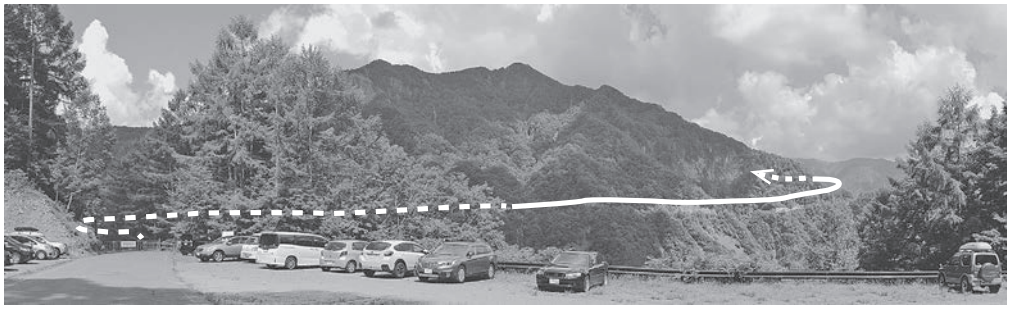
令和元年度大鹿村の南アルプス開山式が同村大河原のウォルター・ウェストン碑前で執り行われた。明治25年（1892年）英国牧師ウォルター・ウェストンがこの地から赤石岳に登頂。これを以ってわが国アルピニズムの嚆矢とされる。村内でもこれに刺激を受けて登山の機運が生まれ、明治39年（1906年）に村民により「赤石会」が結成され、以来山を愛する活動が続けられた（大鹿村誌）。ウェストン碑はそのような同氏の功績を称えるため、村民有志により平成24年（2012年）に建立されたものであるが。本年は関係者の念願叶い、同碑の前での開山式挙行となった。

南アルプス大鹿登山口開山式
令和元年６月５日大鹿村大河原（リニア対策課撮影）

２．村内登山道の現状

ウォルターウェストンは、当時の大河原村釜沢から小渋川に沿って広河原を経由し赤石山頂登頂に至ったのであるが、現状小渋川沿いの登山道（次頁村内概略図参照）は小渋川の渡渉を繰返す上級者向けルートであり、最近も遭難事故があったという。これまでも渡渉を伴わずに稜線へ出るルートの開拓が村内山岳関係者有志により試みられているが、実現には至っていない。尚、釜沢から小渋川ルートに向かう林道赤石線は、崩落による復旧作業のため現在通行止めとなっている。

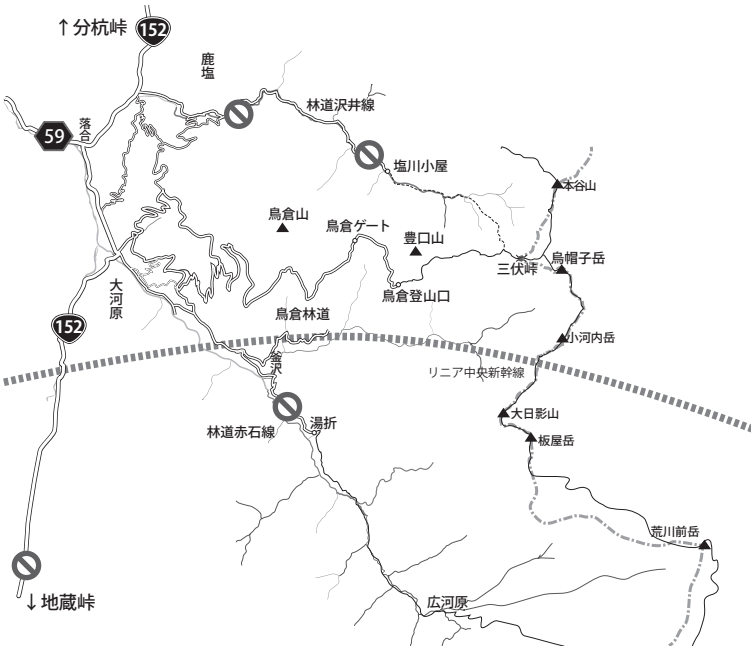
村内でもう一つの登山ルートとして、鳥倉林道から三伏峠へ至るルートがある。鳥倉林道を進むとゲートがあり一般車両はここまでで、登山バスは更に鳥倉登山口まで行くことができ伊那バスが運行している。三伏峠へは、別に同村鹿塩地区の塩川小屋登山口からのルートがあった。このルートは村道沢井線が鹿塩地区河原島橋上で路肩決壊により通行止めとなっており、その先にも崩落があり通行できない状態が続く。「塩川ルートの登山道は、河原島橋が通行可能となって登山道の復旧に取り掛かるとしても、利用できるまでには数年を要する」とみる観光関係者がいる。「鳥倉ルートはゲートから登山口まで林道上を小一時間歩かなければならない。塩川ルートの方がいきなり登山道らしい経路となって山歩きの醍醐味が味わえる。塩川ルートの復旧を切望」という登山者の声も聞かれた。



鳥倉林道ゲート（写真左下）と駐車場　中央は豊口山
登山口まではゲートから更に林道を歩く（ガイドブックでは約50分）必要がある。
（伊那バスは登山口まで運行）
（リニア対策課撮影）

3．南アルプスとの関わりが深い大鹿村

大鹿村概略図



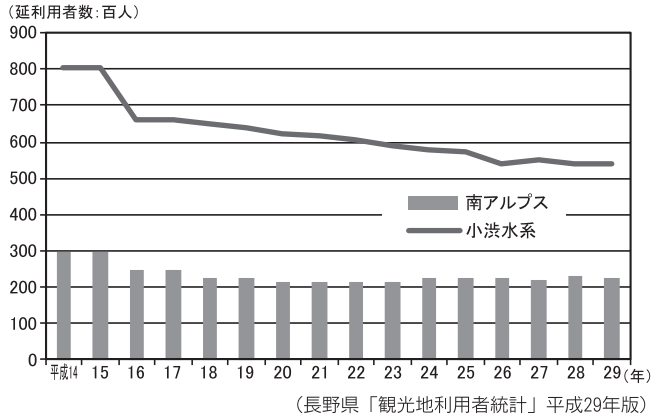
大鹿村誌によると、安政５年（1858年）大河原村から駿河（静岡県）大井川上流井川の西俣まで、御用材伐出作業のための物資運搬を大河原村の村民が請け負い、釜沢、三伏峠を経て運んだ事例がある。また、明治期には大河原村沢戸亀作氏は赤石山系を越して甲州へ出ようと企図して静岡県田代村、山梨県早川村・新倉村の有志と謀り、下伊那郡下18町村の賛成も取り付けて明治16年に長野県令の新道開削許可を得て工事に着手、同19年には人が通行できる道（これを「甲州街道」と称した）の竣工をみたという（以上 大鹿村誌 中巻 第７章）。

鉄道や高速道路に慣れた現代人には三伏峠を越えて向こうの地域との交流は考えも付かないが、山に入って狩猟・採取を業とする者や杣人にはそうしたルートは自然と見えていたのかもしれない。このように南アルプスに深くかかわった大河原・鹿塩の人々の営みの歴史が偲ばれる。

4．期待と不安が交錯

前項の「釜沢」「西俣」「早川」という地名は今、リニア南アルプストンネル工事に関連して目にするものとなった。リニア時代における南アルプスはどうなるか、山岳関係者の話では、烏倉登山バスの遅い便は烏倉登山口へ14時着であるが、そこから三伏峠に向かうと17時頃の着となり、13時や14時頃の午後早めに山小屋へ入る、という登山の鉄則からすると好ましいことではない。リニア開通後、二次交通を適切に運行することにより時間に余裕を持った登山や日帰り登山が可能になる、ということである。同時に、大勢が押しかけることによる南アルプスの生態系への影響や、山小屋等施設の容量を超えた入込みが危惧されるというオーバーツーリズムの問題は今から指摘されている。

大鹿村への来訪数推移



（長野県「観光地利用者統計」平成29年版）

大鹿村ではこれからリニア工事が本格化する。県道松川インター大鹿線を通じ発生土搬送が開始されると、村内の入込客が更に減少するとの危惧はある。

また、村内道路の不通箇所による影響。「地蔵峠は昨年10月から通行止めが続く。片側交互通行もできなかった」という切実な声としてお聞きすることとなった。

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課　加藤　修平）

主要経済統計

項目 / 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ケ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成25年	**737**	**42.0**	**325,892**	**△ 0.7**	**190,248**	**2.0**	**113,743**	**△ 2.4**	－	－
26	**569**	**△ 22.8**	**322,878**	**△ 0.9**	**195,359**	**2.7**	**112,889**	**△ 0.8**	－	－
27	**563**	**△ 1.1**	**329,654**	**2.1**	**203,315**	**4.1**	**124,261**	**10.1**	－	－
28	**634**	**12.6**	**326,157**	**△ 1.1**	**208,771**	**2.7**	**115,843**	**△ 6.8**	－	－
29	**705**	**11.2**	**327,875**	**0.5**	**218,764**	**4.8**	**115,698**	**△ 0.1**	－	－
30	**637**	**△ 9.6**	**327,033**	**△ 0.3**	**219,979**	**0.6**	**112,882**	**△ 2.4**	－	－
平成30. 4	71	121.9	25,759	4.2	17,961	3.8	9,472	△ 4.0	－	－
5	62	19.2	27,676	△ 3.2	18,240	0.0	10,058	△ 4.8	－	－
6	53	△ 7.0	24,093	0.5	16,062	1.1	9,753	△ 1.6	－	－
7	26	△ 50.9	26,163	△ 2.3	17,104	△ 6.7	9,564	△ 3.2	－	－
8	46	△ 33.3	36,722	△ 0.2	22,773	0.8	10,136	△ 2.0	－	－
9	41	△ 51.2	27,335	0.6	18,457	△ 0.5	9,087	△ 3.8	－	－
10	47	△ 25.4	27,355	1.7	18,546	1.2	9,903	△ 1.8	－	－
11	95	18.8	26,399	2.4	17,852	△ 2.0	9,602	1.6	21,038	－
12	44	△ 8.3	28,429	0.6	18,173	1.1	8,425	△ 3.8	23,128	－
平成31. 1	56	7.7	26,728	4.6	17,858	2.0	8,436	0.8	21,047	－
2	40	△ 25.9	23,442	5.8	17,414	3.3	8,411	△ 0.7	18,738	－
3	47	2.2	30,699	4.4	20,254	△ 0.9	9,841	△ 2.0	25,245	－
4	51	△ 28.2	26,487	2.8	18,656	3.9	9,366	△ 1.1	21,794	－
令和１. 5	60	△ 3.2	27,951	1.0	19,000	4.2	9,924	△ 1.3	22,632	－
6	－	－	24,662	2.4	17,123	6.6	9,501	△ 2.6	20,083	－
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

項目 / 年月	自動車新規登録台数（松本自動車検査登録事務所管内）				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値（但、年平均は実数）	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成25年	**30,532**	**△ 4.7**	**7,660**	**3.7**	**0.87**	－	－
26	**30,089**	**△ 1.5**	**7,058**	**△ 7.9**	**1.09**	－	－
27	**30,124**	**0.1**	**7,819**	**10.8**	**1.25**	－	－
28	**27,751**	**△ 7.9**	**7,433**	**△ 4.9**	**1.41**	－	－
29	**27,349**	**△ 1.4**	**7,274**	**△ 2.1**	**1.60**	－	－
30	**27,525**	**0.6**	**7,352**	**1.1**	**1.69**	－	－
平成30. 4	1,898	1.1	628	△ 12.4	1.69	1.51	1.59
5	1,896	△ 1.7	597	6.0	1.70	1.51	1.65
6	2,189	△ 13.3	737	10.2	1.70	1.62	1.74
7	2,230	2.3	617	△ 2.1	1.70	1.68	1.78
8	2,110	23.5	642	14.6	1.71	1.70	1.76
9	2,623	△ 0.6	589	△ 3.1	1.70	1.70	1.78
10	2,211	14.0	623	4.9	1.68	1.58	1.66
11	2,293	10.1	572	8.5	1.68	1.54	1.68
12	1,961	△ 1.9	584	△ 1.5	1.69	1.65	1.65
平成31. 1	1,888	△ 0.8	457	8.3	1.65	1.53	1.65
2	2,370	0.6	553	4.3	1.64	1.38	1.46
3	3,669	△ 4.8	892	10.0	1.64	1.31	1.41
4	2,291	20.7	881	40.3	1.68	1.29	1.41
令和１. 5	2,236	17.9	697	16.8	1.69	1.31	1.48
6	2,643	20.7	769	4.3	－	－	－
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 / 年月	手形交換高		倒産件数（負債額1千万円以上）		信用保証承諾（飯田支所管内）	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成25年	**60,405**	**81,013,729**	**113**	**8**	**2,018**	**5.5**
26	**55,798**	**58,747,886**	**97**	**6**	**2,057**	**1.9**
27	**51,892**	**58,937,709**	**86**	**12**	**2,120**	**3.1**
28	**47,284**	**53,411,735**	**88**	**8**	**2,004**	**△ 5.5**
29	**44,601**	**56,085,863**	**81**	**10**	**1,914**	**△ 4.5**
30	**40,929**	**54,405,406**	**93**	**20**	**1,815**	**△ 5.2**
平成30. 4	3,338	4,505,883	5	1	121	△ 4.7
5	3,955	5,306,227	5	2	183	50.0
6	2,907	4,598,402	9	0	149	△ 6.9
7	3,864	4,533,688	10	1	145	△ 2.0
8	3,455	4,778,765	6	1	147	△ 12.0
9	2,790	4,207,557	8	2	148	△ 17.3
10	3,846	4,311,935	11	6	134	△ 5.6
11	3,163	3,725,724	9	3	138	△ 2.8
12	3,004	4,409,032	3	0	150	△ 19.4
平成31. 1	3,690	5,445,545	11	1	126	△ 6.0
2	3,040	4,177,126	4	0	150	△ 5.7
3	2,710	5,116,670	8	0	174	△ 15.9
4	3,027	3,785,301	7	1	129	6.6
令和1. 5	3,616	5,248,472	4	0	144	△ 21.3
6	2,580	4,130,285	3	1	132	△ 11.4
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 / 年月	中央道利用台数（インターチェンジ出入合計）							
	飯田IC		松川IC		園原IC		山本IC	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成25年	**2,970,606**	**1.3**	**1,939,863**	**1.4**	**417,360**	**10.8**	**1,070,386**	**5.9**
26	**2,782,563**	**△ 6.3**	**1,835,138**	**△ 5.4**	**364,566**	**△ 12.6**	**979,398**	**△ 8.5**
27	**2,780,683**	**△ 0.1**	**1,821,617**	**△ 0.7**	**435,939**	**19.6**	**1,047,675**	**7.0**
28	**2,755,469**	**△ 0.9**	**1,819,412**	**△ 0.1**	**375,892**	**△ 13.8**	**1,022,578**	**△ 2.4**
29	**2,759,316**	**0.1**	**1,865,085**	**2.5**	**368,243**	**△ 2.0**	**1,018,661**	**△ 0.4**
30	**2,765,376**	**0.2**	**1,871,062**	**0.3**	**423,828**	**15.1**	**1,017,497**	**△ 0.1**
平成30. 4	225,070	1.1	145,746	0.4	57,529	61.5	91,847	10.4
5	236,646	△ 1.2	154,355	△ 1.6	39,871	△ 13.2	87,439	△ 8.0
6	222,252	△ 1.5	150,672	△ 0.6	32,576	55.4	75,205	△ 0.6
7	232,347	△ 2.8	159,791	△ 0.8	34,045	20.9	89,874	3.4
8	260,148	1.1	173,114	△ 0.5	42,127	4.6	112,753	△ 1.5
9	230,249	△ 0.8	160,382	△ 2.1	27,490	△ 8.5	84,642	△ 4.2
10	249,194	4.6	174,737	3.2	45,930	57.5	96,696	8.2
11	245,989	0.5	184,362	0.4	38,239	13.8	95,649	0.1
12	226,974	△ 0.1	152,750	△ 1.8	25,255	2.9	73,465	△ 3.5
平成31. 1	209,607	1.4	133,259	△ 1.1	25,060	△ 5.6	66,977	△ 0.3
2	196,648	0.9	125,140	△ 2.5	24,144	△ 6.4	63,059	△ 0.5
3	236,623	0.7	149,803	△ 1.6	26,981	△ 5.1	77,548	△ 2.3
4	226,394	0.6	146,763	0.7	45,245	△ 21.4	89,223	△ 2.9
令和1. 5	236,073	△ 0.2	154,855	0.3	52,623	32.0	93,755	7.2
6	215,770	△ 2.9	146,768	△ 2.6	29,408	△ 9.7	73,196	△ 2.7
資料出所	中日本高速道路（株）名古屋支社飯田保全サービスセンター							